

宿泊税を活用した今後の 観光振興施策について

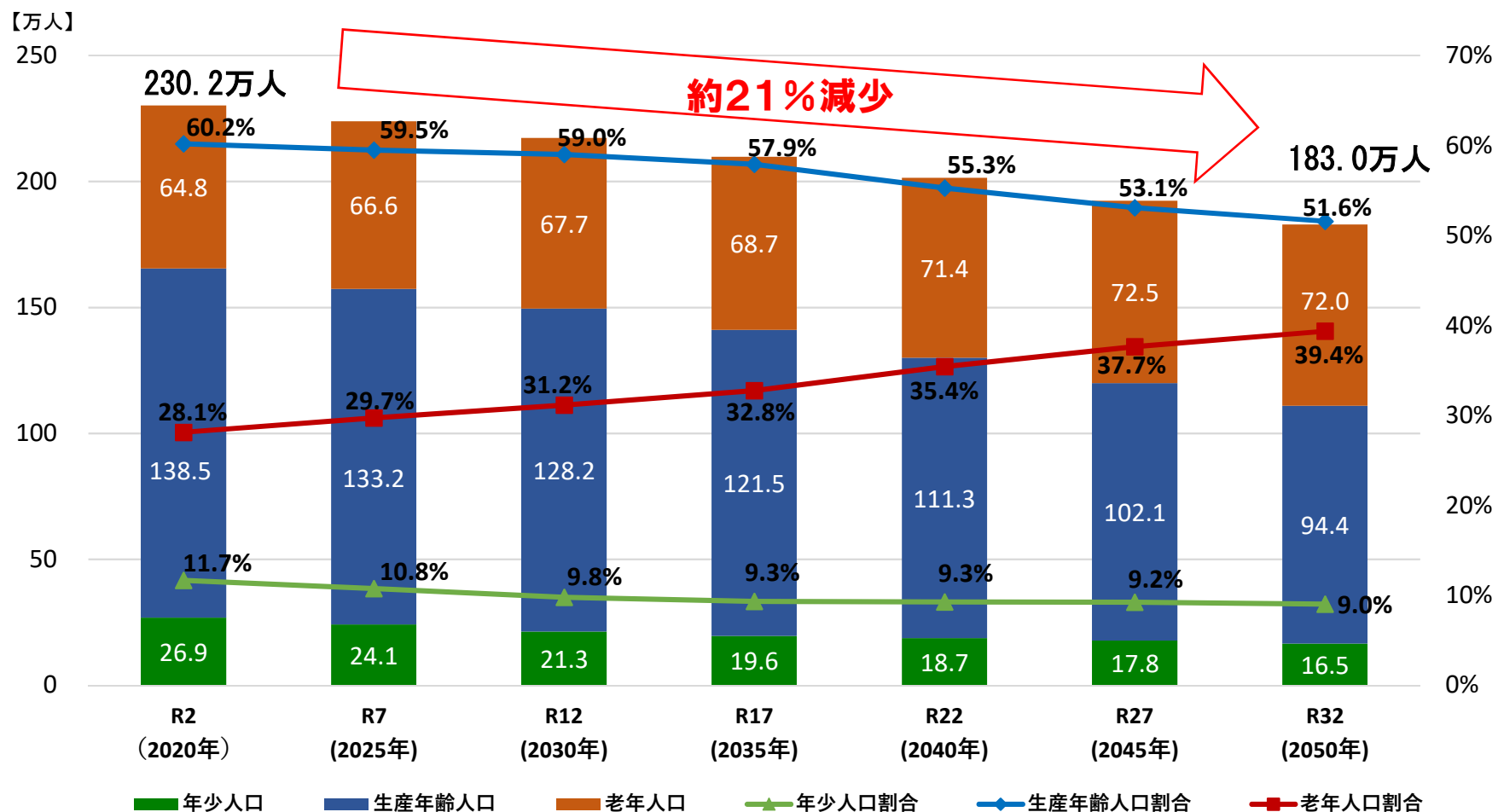


仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

1. 観光を取り巻く現状と課題 ①人口減少

ポイント ①

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計…2050年の宮城県の人口＝約183万になる見込み
- 生産年齢人口(15～64歳)及び年少人口(14歳以下)は、今後さらに減少
- 老年人口(65歳以上)は増加し、2050年の高齢化率は39.4%になる見込み



出典：日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

⇒県内宿泊者のうち、県内在住者は全体の約2割程度。人口減少に比例して、県内在住の宿泊者は確実に減少する見込みであり、新たな顧客獲得が必要です。

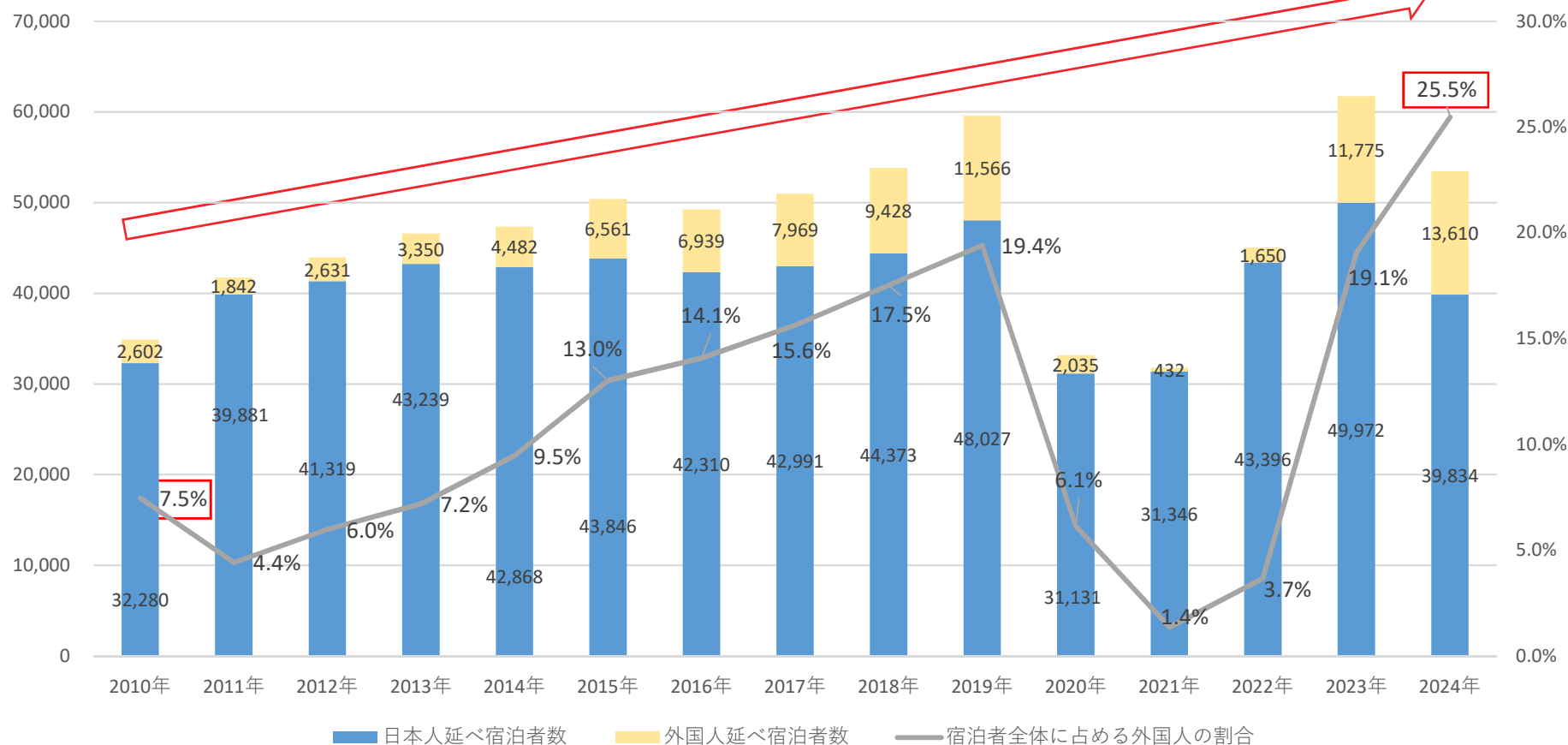
1. 観光を取り巻く現状と課題 ①人口減少

ポイント ①

○震災後の宿泊者数の推移を見ると全国的に日本人宿泊者数の伸びは鈍化、一方で訪日外国人の割合が増えている状況。

【万人泊】

外国人宿泊者数割合が約18%も増加



「宿泊旅行統計調査」（観光庁）より作成

⇒ 全国的に人口減少が進む中、国内の限られた需要をどのように取り込んでいくか、高付加価値化（観光消費額単価のアップ等）に向けた対応が必要です。

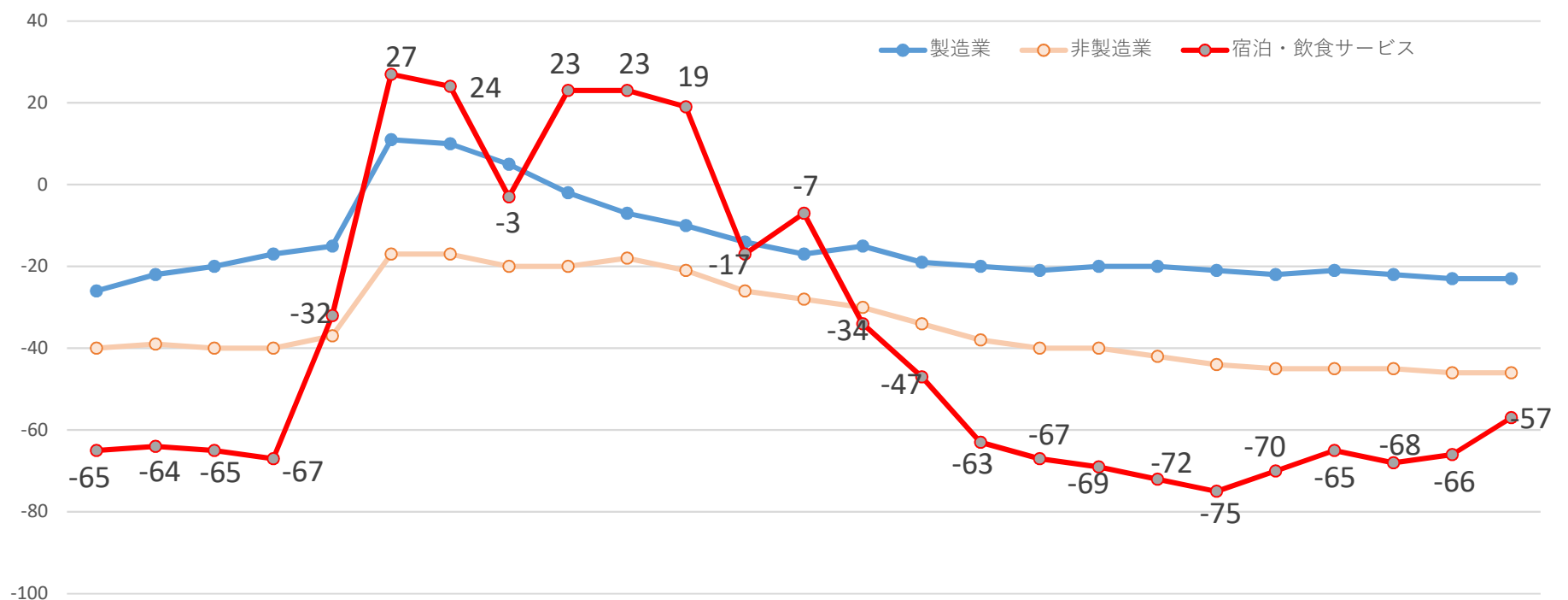
1. 観光を取り巻く現状と課題 ②人手不足

ポイント ②

コロナ禍以降、宿泊業では他業種以上に人手不足が深刻な状況

企業の雇用人員判断D.Iの推移

【%ポイント】



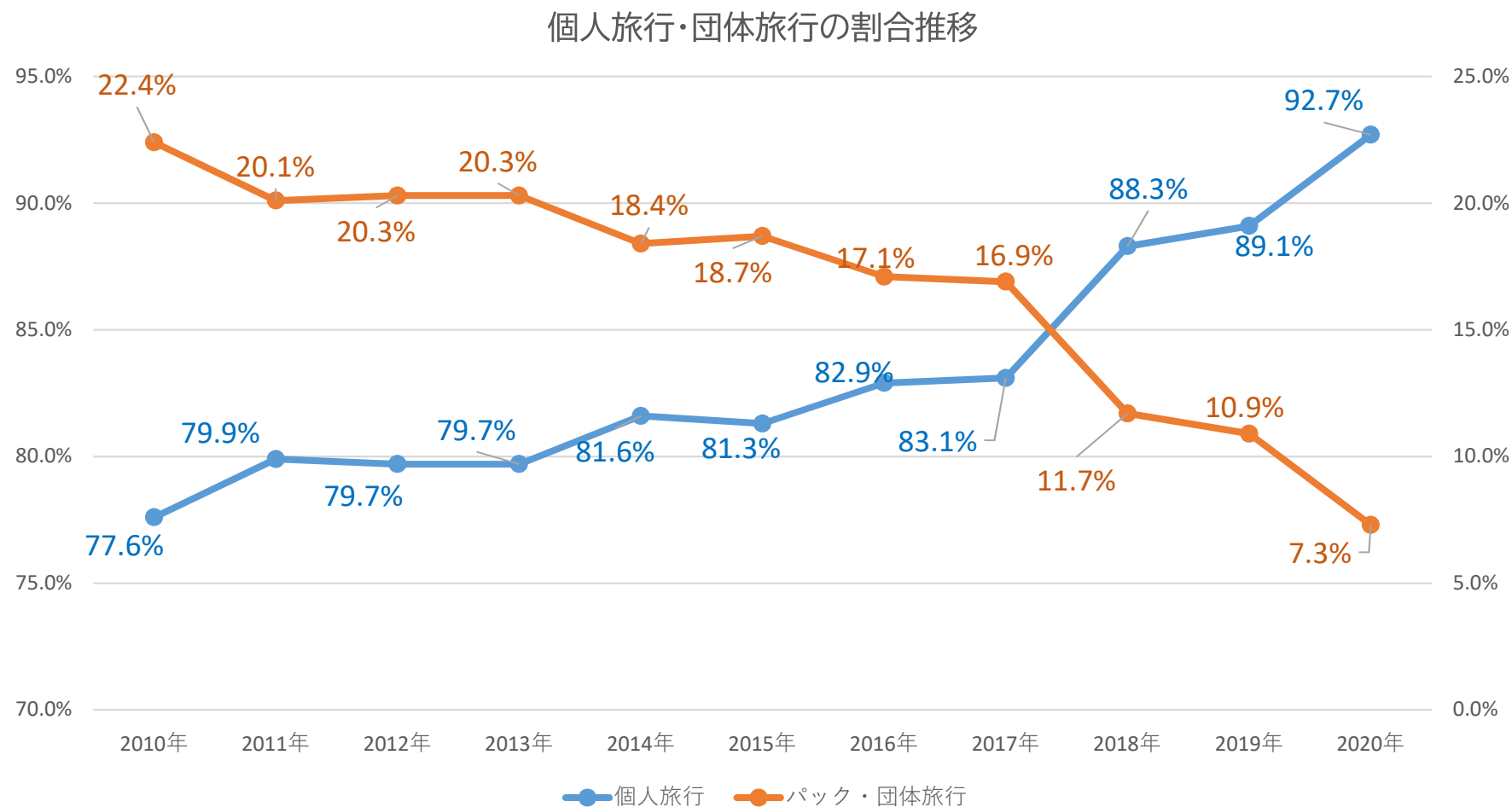
「全国企業短期経済観測調査」（日本銀行）より作成

⇒宿泊業の持続性、収益性を高めるためにも人手不足対策は急務となっています。

1. 観光を取り巻く現状と課題 ③旅行形態の多様化

ポイント ③

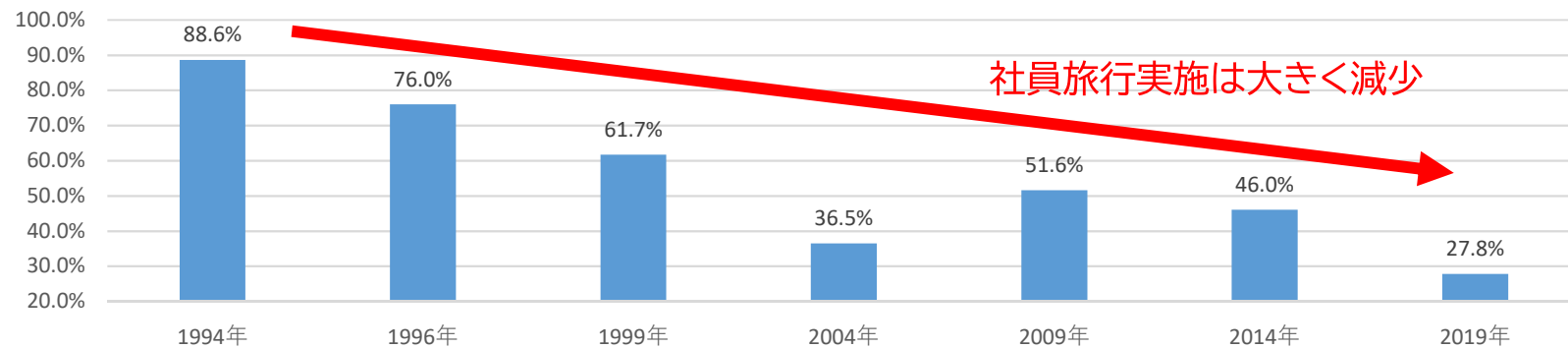
旅行形態、観光ニーズが多様化している。



⇒個人旅行客の増加など、多様化したニーズへの対応(観光コンテンツの造成等)が必要となっています。

1. 観光を取り巻く現状と課題 ③旅行形態の多様化

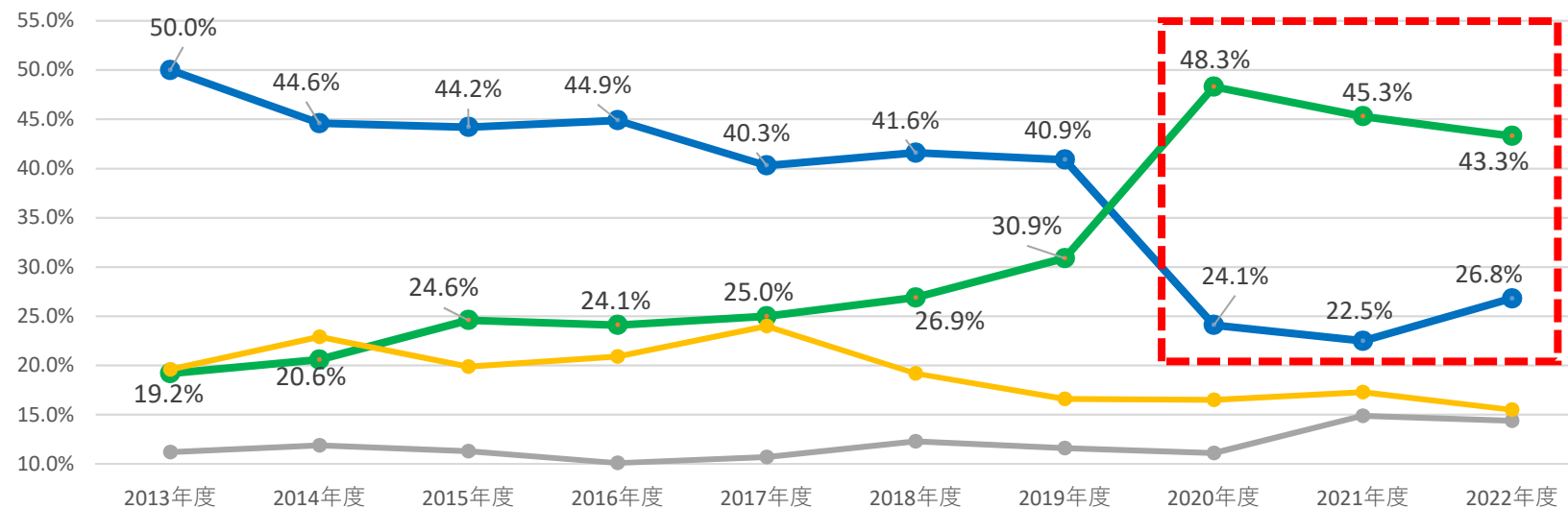
社員旅行実施率



出典：社内イベント・社員旅行等に関する調査（産労総合研究所）

宿泊にあたっての予約経路

予約経路もOTAが主流に



「営業状況等統計調査」（日本旅館協会）を基に作成

●旅行業者経由 ●OTA経由 ●自社HP経由 ●その他

⇒柔軟に対応できる体制づくり、環境整備が急務となっています。

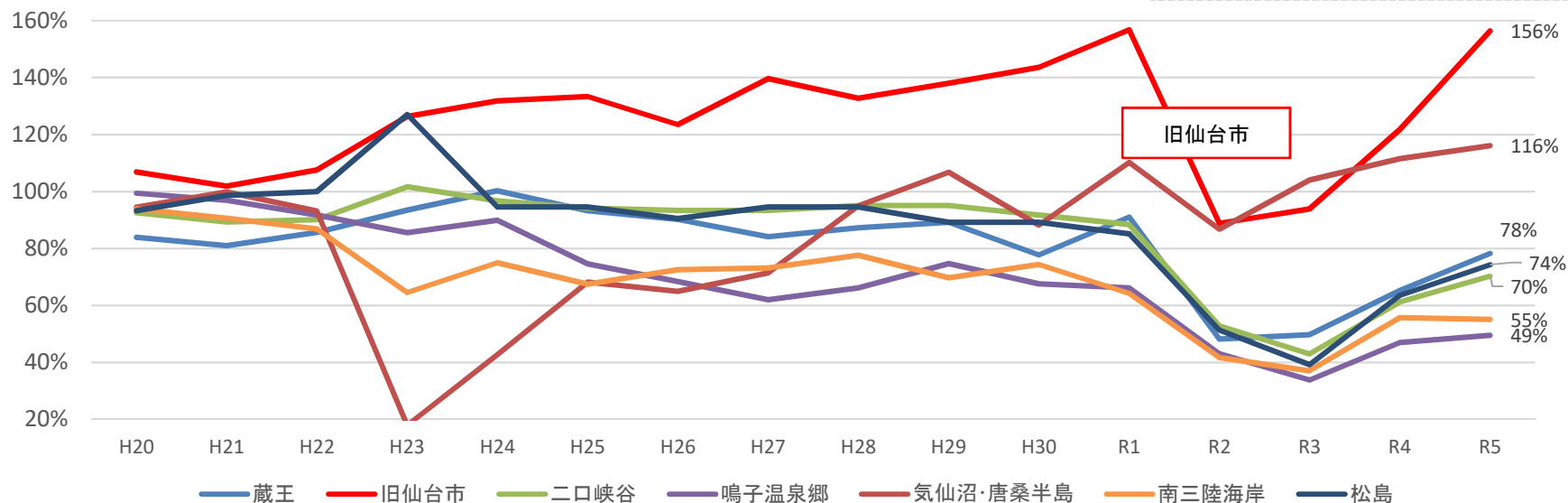
1. 観光を取り巻く現状と課題 ④宿泊観光客数

ポイント ④

対H19年(H10年以降震災前までで最多)比で、「旧仙台市」(*)が156%と大幅増加
一方、仙台市中心部を含む「旧仙台市」以外は、蔵王【78%】、松島【74%】、二口渓谷(秋保、作並、奥新川)70%】、鳴子温泉【49%】と大幅に減少

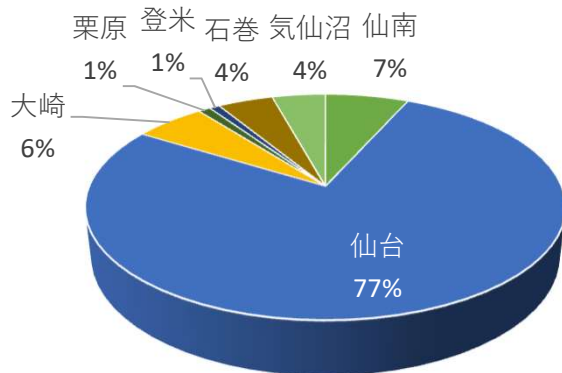
宿泊者数の増加率(対H19年比)

(※)仙台市のうち旧秋保町、旧宮城町作並・奥新川・定義、旧泉市を除く。



R5圏域別宿泊者の割合

【参考:R5宿泊者数の対H19比】県全体115%、栗原58%、登米214%、石巻110%



⇒地域間で、宿泊観光客数に差が出ており、
今後は仙台など集客のある地域からいかに
県内全域に送客していくかが、持続可能な
地域主体の観光地域づくりを進めていく
上で大きな課題となっています。

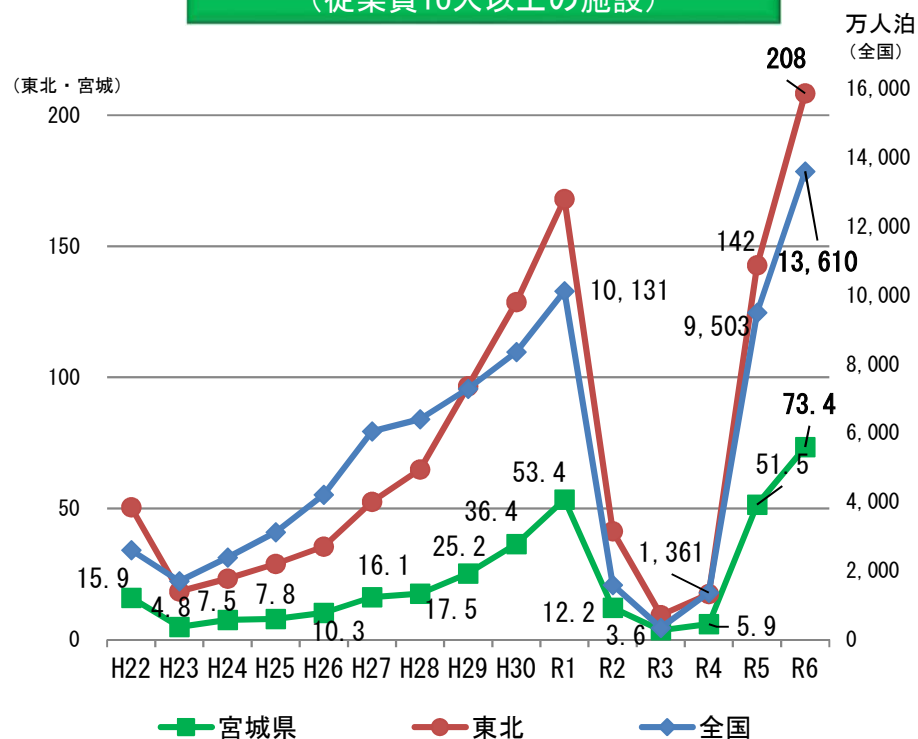
1. 観光を取り巻く現状と課題 ⑤インバウンド

ポイント ⑤

○訪日外国人宿泊者数については、令和5年に水際対策の緩和に伴い、51.5万人と、コロナ禍前の令和元年とほぼ同水準まで回復し、令和6年も、円安による日本への旅行需要の増加により、本県においても過去最高となる約73万人泊を記録する見込み

○一方で、全国の伸びに比べると低位となっており、全国におけるシェアも0.5%にとどまっている。

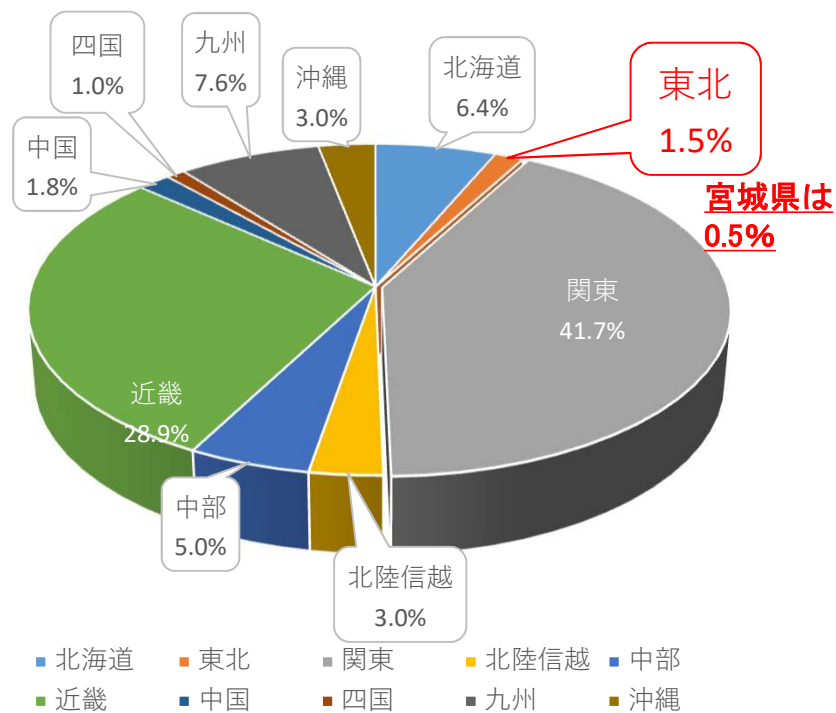
全国・東北・宮城の外国人宿泊者数の推移
(従業員10人以上の施設)



出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

※R6は速報値

地区別外国人宿泊者数の割合



出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

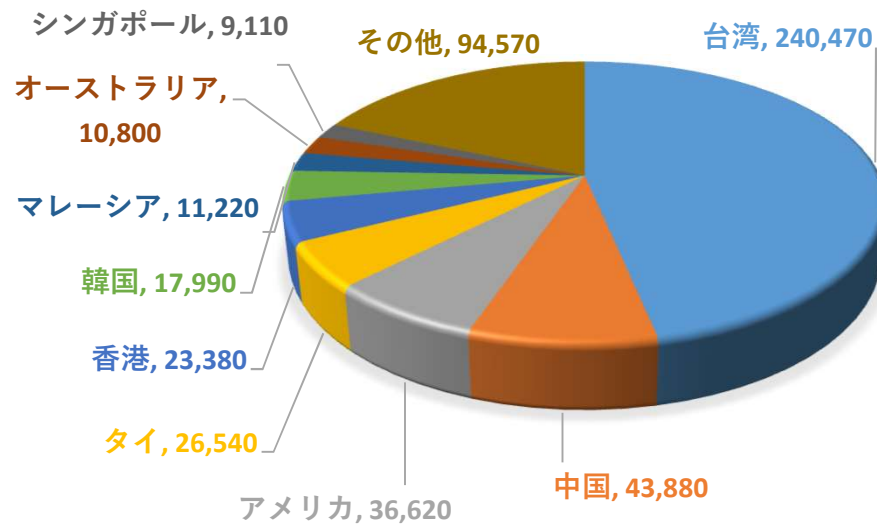
※R6は速報値

1. 観光を取り巻く現状と課題 ⑤インバウンド

ポイント ⑤

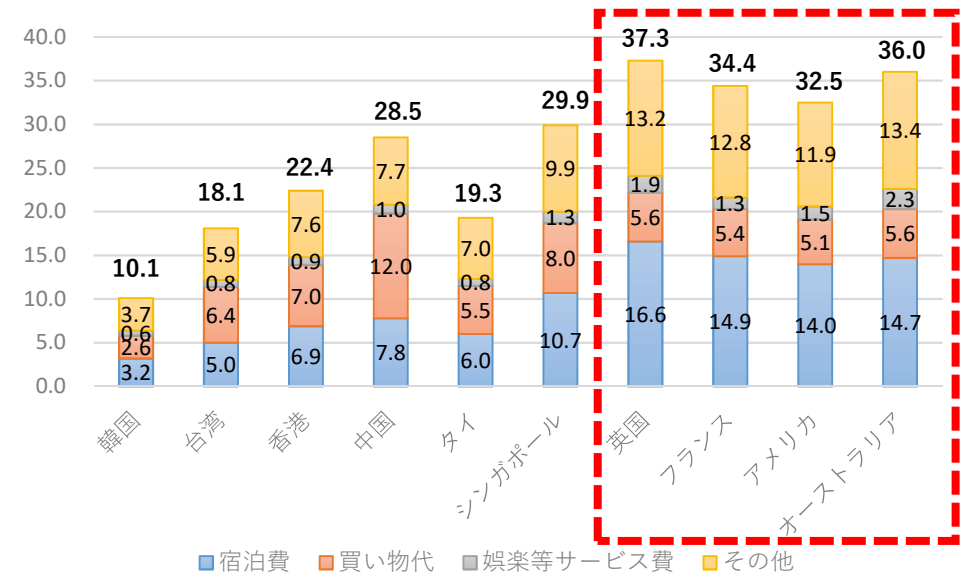
旺盛なインバウンド需要を十分に取込めていない。
仙台空港との定期便のある台湾、中国からの訪日客が高い傾向にあるが、今後は購買意欲の高い欧米豪などからの誘客にも積極的に取り組んでいく必要がある。

外国人延べ宿泊者数(人)



出典：R 5 宿泊旅行統計調査（観光庁）

国籍・地域別消費単価(2023年)(万円)



出典：R 5 訪日外国人消費動向調査（観光庁）

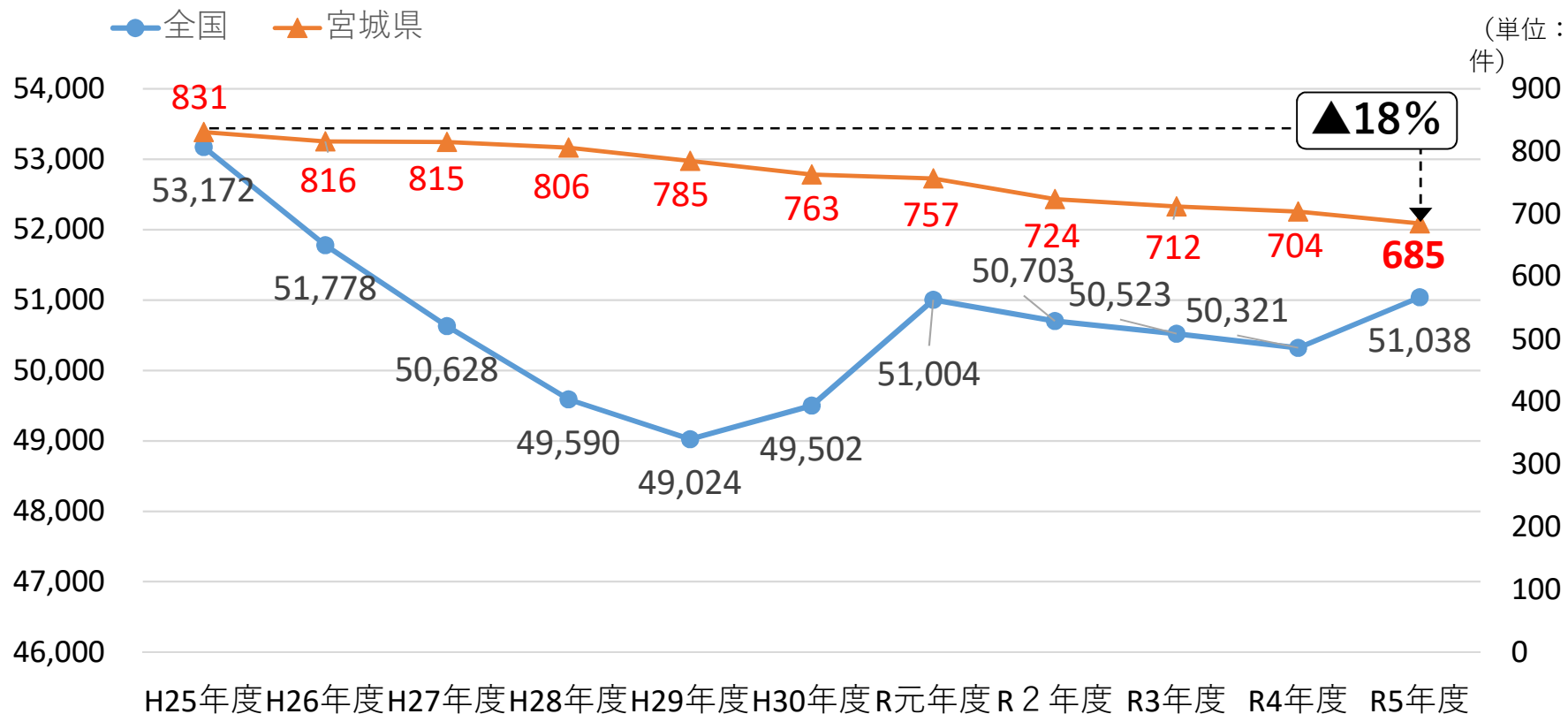
2024年の訪日外国人消費額が8兆円を超え、2023年の5兆3,000億円を上回り過去最高となった。これは、半導体や鉄鋼を上回り、日本の主要な輸出品である自動車に次ぐ規模になるなど、インバウンドの経済効果は大きくなっている。

1. 観光を取り巻く現状と課題 ⑥厳しい経営環境

ポイント ⑥

ホテル・旅館の施設数の過去10年間の推移をみると、全国では、平成25年度には53,172件あった施設は、令和5年度には4.0%減の51,038件まで減少した。
宮城県は、平成25年度には831件あったが、令和5年度には、18%減の685件まで減少しており、全国に比べ減少率が大きくなっている。

全国・宮城県のホテル・旅館の施設数推移(過去10年間)



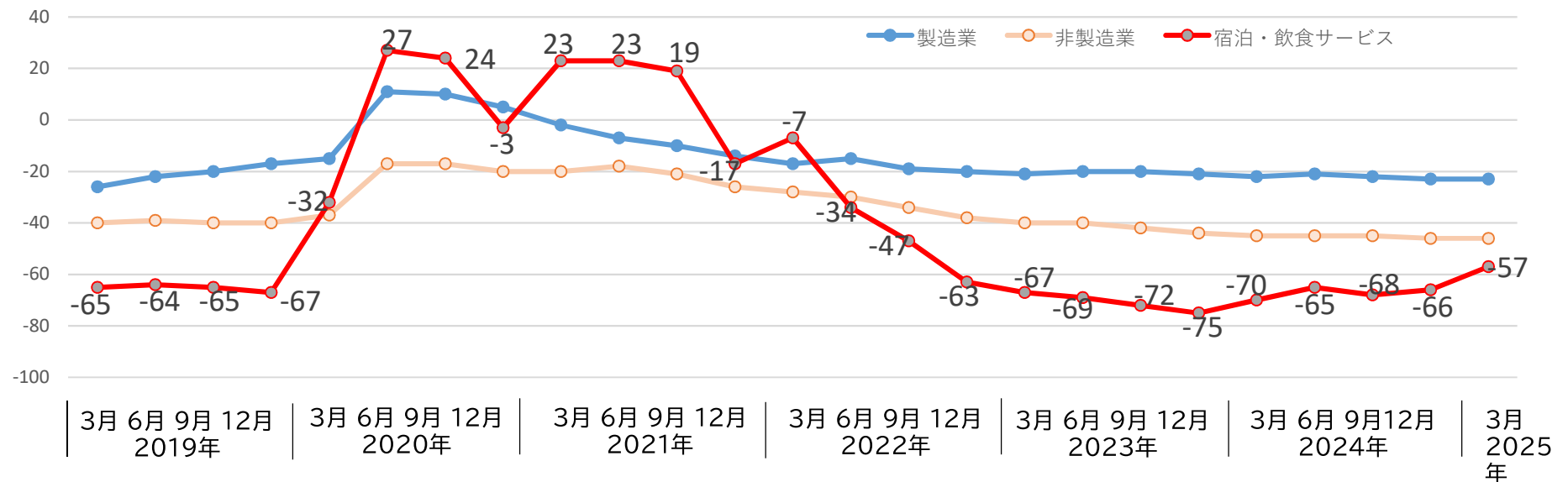
1. 観光を取り巻く現状と課題 ⑥ 厳しい経営環境

ポイント ⑥

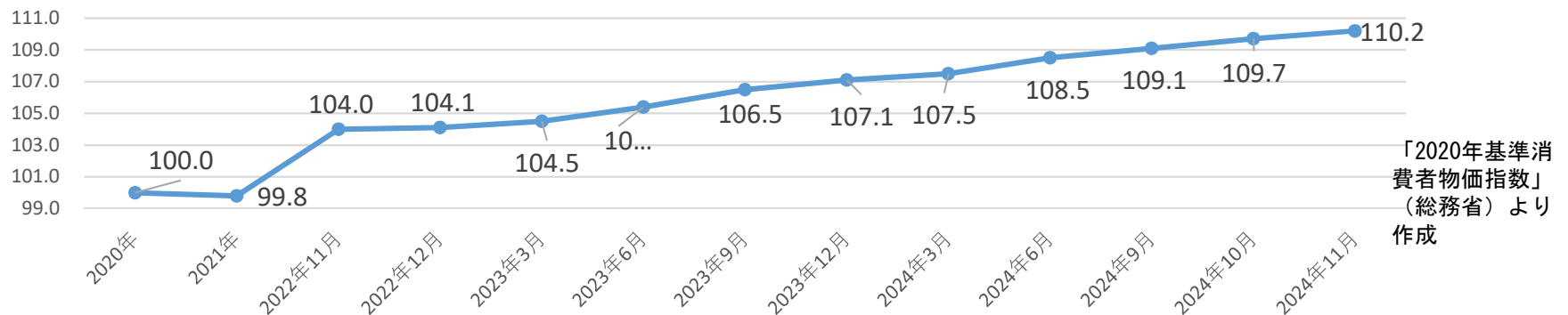
コロナ禍以降、宿泊業では他業種以上に人手不足が深刻な状況
物価高に歯止めがかからず、収益にも影響

【%ポイント】

企業の雇用人員判断D.Iの推移 「全国企業短期経済観測調査」（日本銀行）より作成



消費者物価指数 総合指標の推移(2020年を100として)



⇒ 厳しい経営環境の中、足腰の強いしなやかな宿泊業の強化が重要。

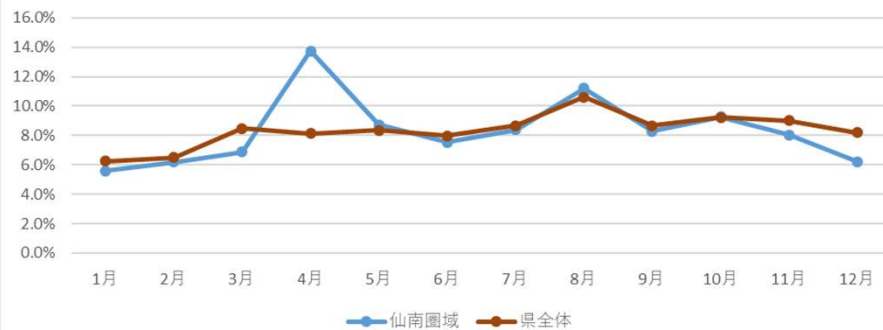
1. 観光を取り巻く現状と課題

⑥ 厳しい経営環境

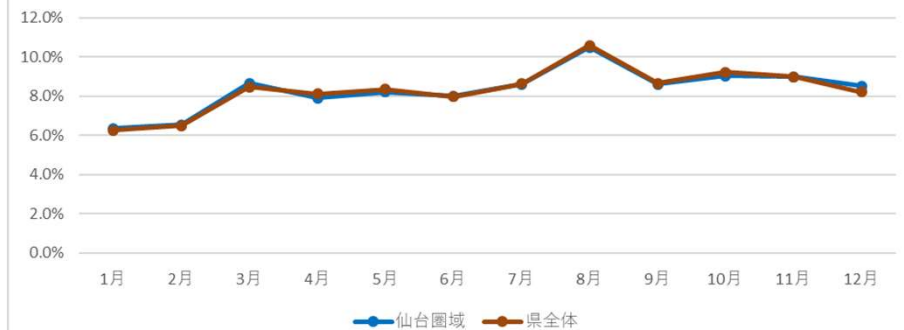
ポイント ⑥

観光は繁閑期があり、収益性にも影響。

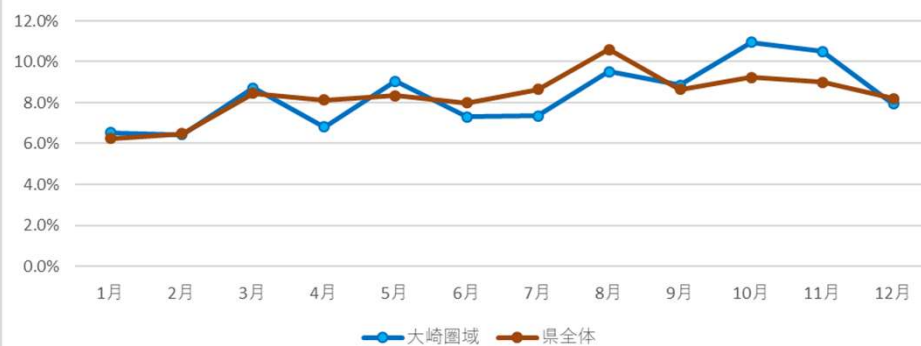
月別宿泊観光客数の割合【仙南圏域】



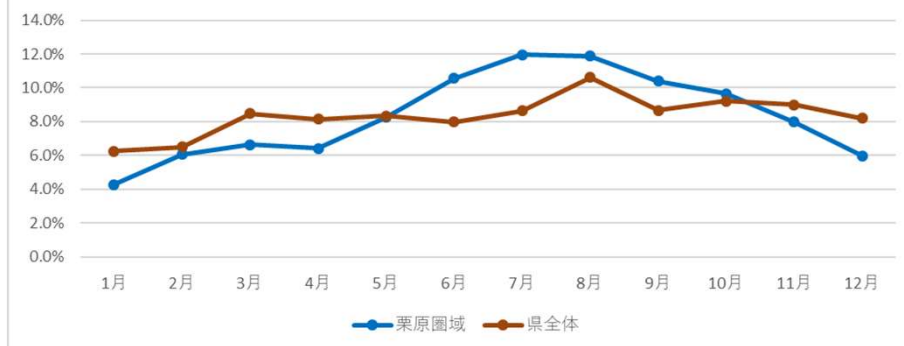
月別宿泊観光客数の割合【仙台圏域】



月別宿泊観光客数の割合【大崎圏域】



月別宿泊観光客数の割合【栗原圏域】



出典：宮城県観光統計概要

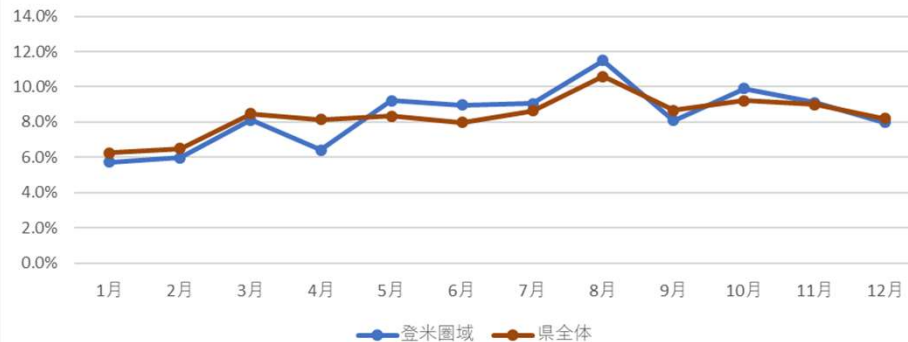
1. 観光を取り巻く現状と課題

⑥ 厳しい経営環境

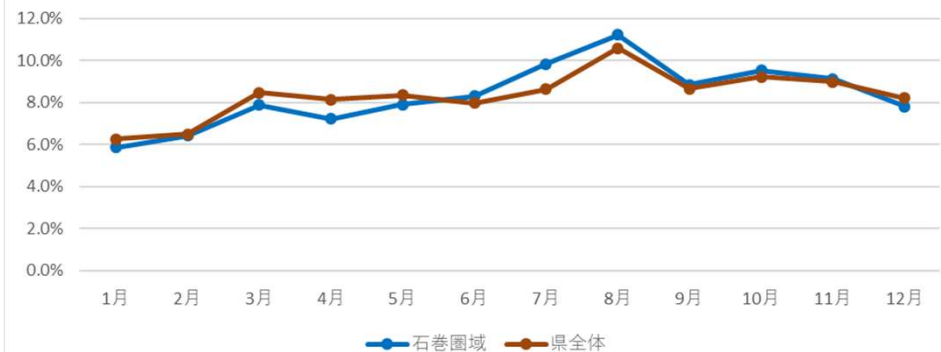
ポイント ⑥

観光は繁閑期があり、収益性にも影響。

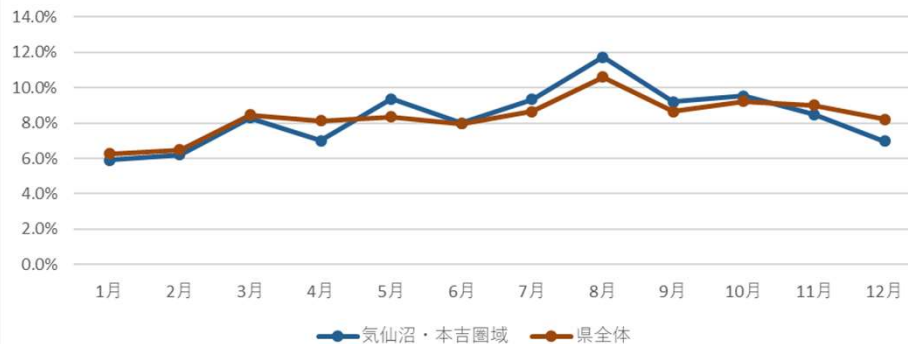
月別宿泊観光客数の割合【登米圏域】



月別宿泊観光客数の割合【石巻圏域】



月別宿泊観光客数の割合【気仙沼・本吉圏域】



出典：宮城県観光統計概要

⇒グリーンシーズンなどの閑散期に足を運んでもらえるような観光コンテンツ磨き上げや適時適切な情報発信が必要

1. 観光を取り巻く現状と課題

⑦県内観光地における交通手段

ポイント

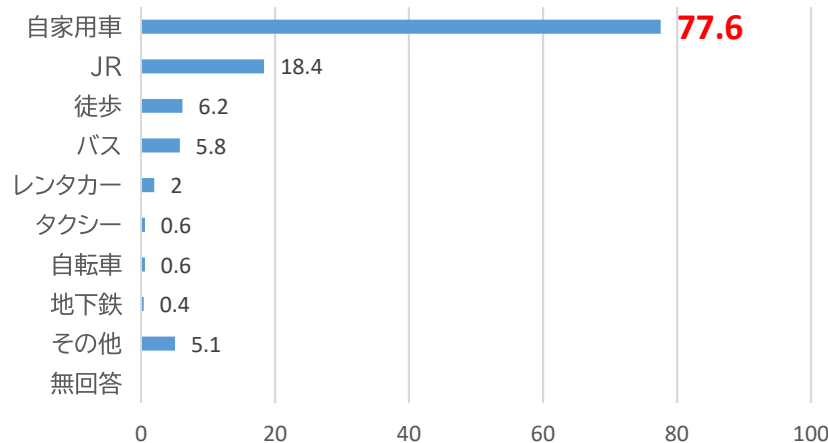
⑦

○県内観光地における移動手段は、自動車約8割を占める。

○仙台空港からの移動先は県内55%、県外45%であり、県内のうち仙台市内が約8割を占める。

【図1】県内観光地における利用交通機関

(単位：%)



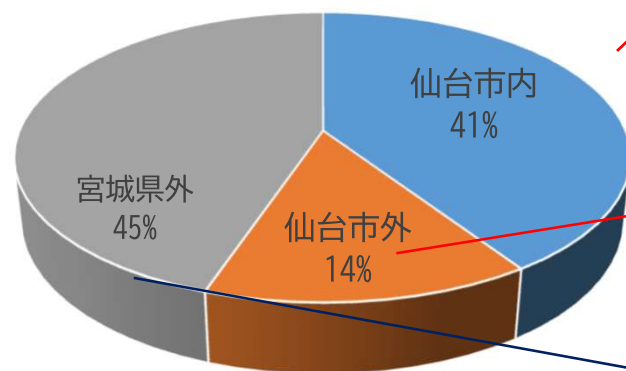
(単位：%)

圏域名	交通手段					
仙南圏域	自家用車	81.6	JR	6.8	バス	6.5
仙台圏域	自家用車	73.1	JR	23.1	バス	9.5
大崎圏域	自家用車	67.8	JR	32.7	徒歩	2.5
栗原圏域	自家用車	86.1	バス	2.4	レンタカー	0.5
登米圏域	自家用車	97.9	徒歩	0.9	自転車	0.7
石巻圏域	自家用車	77.8	徒歩	11	バス	4.1
気仙沼・本吉圏域	自家用車	92.2	JR	3.5	レンタカー	3.5

【調査内容】県内13地点で観光客に観光地までの利用交通機関をヒアリング調査

出典：宮城県観光客実態調査

【図2】仙台空港からの移動先



出典：東北観光推進機構 東北観光DMP

宮城県内
55%

【仙台市外の主な場所】

- ①松島海岸（松島町）6%
- ②イオンモール名取（名取市）4%
- ③松島駅（松島町）1%
- ④遠刈田温泉（蔵王町）1%
- ⑤蔵王郷リゾート（蔵王町）0.4%

【宮城県外の主な場所】

- ①銀山温泉（山形県）4%
- ②花巻温泉（岩手県）4%
- ③一関市狍鼻溪等（岩手県）3%
- ④山形駅（山形県）2%
- ⑤奥入瀬溪流（青森県）2%

⇒県内各地への周遊を促すために、自家用車以外の交通手段を利用する観光客向けの二次交通の充実も必要

2. 第6期みやぎ観光戦略プランに基づく観光施策①

1. 計画期間

令和7年4月から令和10年3月まで【3か年】

2. プラン概要

人口減少社会において観光客の減少が見込まれる中で、**消費額単価の高い宿泊客やインバウンド**を積極的に取り込み、交流人口の拡大や県内経済の活性化を図ります。

主な数値目標

目標指標	R元【実績】	R5【実績】	R9【目標】	ポイント
宿泊観光客数	989 万人泊	943 万人泊 【県内シェア】 仙台圏域77% 他圏域23%	1,104 万人泊 【県内シェア】 仙台圏域 75% 他圏域 25%	👉各圏域の実情に応じて、圏域ごとに目標値を設定します。 👉仙台圏域から県内全域への送客を図ります。

各圏域の 目標値	圏域	R9(目標)	対R5	圏域	R9(目標)	対R5
	仙 南	75 万人泊	+12	仙 台	830 万人泊	+103
	大 崎	87 万人泊	+33	栗 原	11 万人泊	+2
	登 米	9 万人泊	+1	石 巻	44 万人泊	+2
	気仙沼・本吉	48 万人泊	+8	7圏域計 1,104万人泊		

目標指標	R元【実績】	R5【実績】	R9【目標】	ポイント
外国人観光客 宿泊者数	53.4 万人泊	51.5 万人泊	120 万人泊	👉 消費額単価の高いインバウンド の取り込みを強化します。

2. 第6期みやぎ観光戦略プランに基づく観光施策②

戦略プロジェクト・取組の方向性

今後の取組の方向性を以下の4つに分類し、既存財源に加え、宿泊税を有効活用しながら、観光施策の充実・強化を図ります

戦略1 魅力ある観光資源の創出

- 県内宿泊者数や滞在時間の増加、繁閑期の平準化のため、「食」、「自然」、「歴史・文化」を活用した宮城ならではの観光コンテンツの造成を推進するとともに、市町村や観光関連事業者の創意工夫ある取組を支援します。

取組イメージ

- ・市町村毎の独自色を活かした観光地域づくり
- ・アウトドアコンテンツの利用促進(宮城オルレ、みちのく潮風トレイル等)
- ・教育旅行の誘致促進 等



<宮城オルレの新規コース造成>

戦略2 観光産業の活性化

- 観光産業が抱える人手不足や宿泊施設の収益力の向上に向けて、人材確保やデジタル技術の導入等を推進します。

取組イメージ

- ・省人化・省力化設備の導入推進
- ・就職マッチング機会の創出や定着・スキルアップ支援 等



<従業員のスキルアップ研修>

2. 第6期みやぎ観光戦略プランに基づく観光施策③

戦略3 観光客受入環境整備の充実

- 観光地の魅力向上に向けた面的な整備や、インバウンドをはじめとする旅行者の利便性向上のための受入環境整備を推進するほか、空港や駅などと観光地を結ぶ交通アクセスの充実を図ります。

取組イメージ

- ・観光地全体の魅力向上(ライトアップ、廃屋撤去等)
- ・観光施設等のキャッシュレス対応・多言語化の推進
- ・シャトルバス、レンタカー、乗合タクシーによる周遊促進 等



<周遊バスの運行>

戦略4 国内外との交流拡大の促進

- アジア圏からの更なる誘客に加え、欧米豪の新規市場開拓に向け、東北観光推進機構や東北各県と連携したプロモーションを行うほか、アウトバウンドやスポーツツーリズムの推進に取り組めます。

取組イメージ

- ・海外市場別のプロモーションの強化
- ・県内学校の海外教育旅行の推進
- ・プロスポーツと連携した誘客、学生スポーツ大会・合宿誘致の推進 等



<欧州からのインバウンドモニターツアー>

2. 第6期みやぎ観光戦略プランに基づく観光施策④ 登米圏域における施策の方向

○登米圏域の概要等

1. 人口

平成17年：91,468人
令和 6年：72,754人
：
将来推計人口
令和22年：53,522人

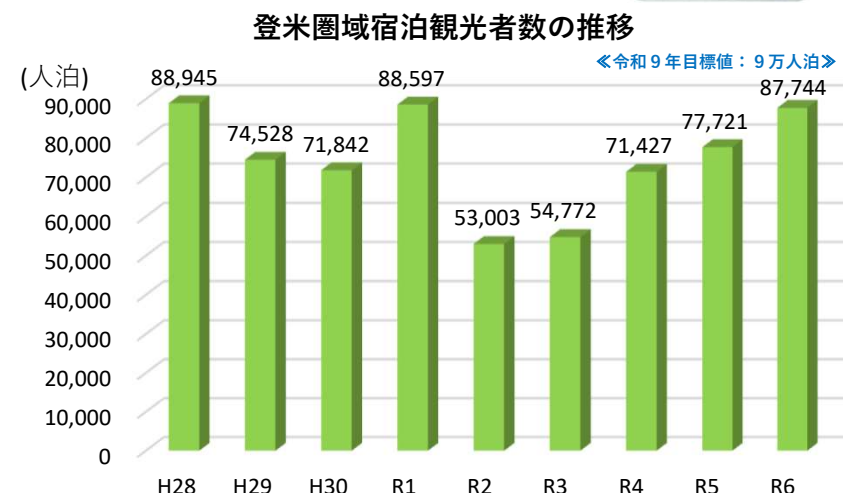
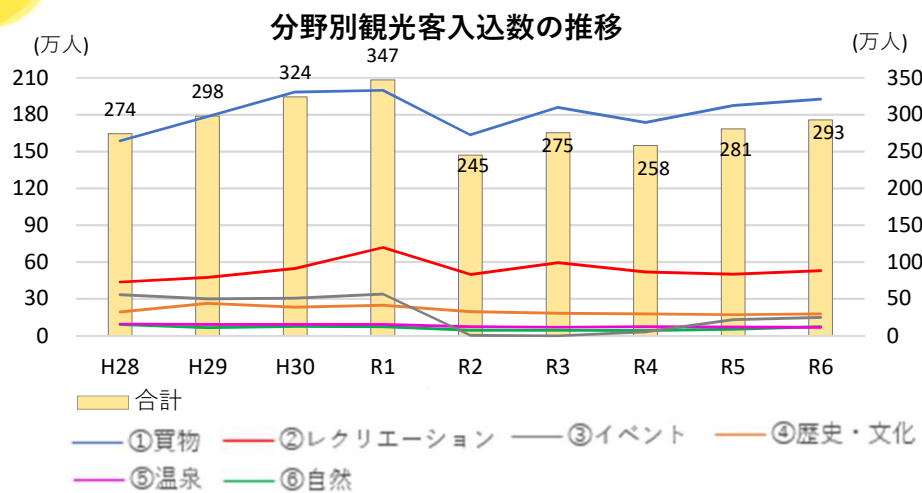
2. 登米の特徴・最近のトピックス

- ☞豊かな農業資源と食文化
 - ・農業産出額317.4億円（R5県内1位）
 - 畜産156.9億円（県内1位）
 - 米 123.7億円（県内1位）
 - 野菜 27.8億円（県内1位）
 - ・オーガニックビレッジ宣言R6.12.25（県内初）
- ☞豊かな自然と環境資源
 - ・伊豆沼・内沼ラムサール条約登録40周年（R7.9.13）
- ☞歴史・文化遺産の魅力
 - ・みやぎの明治村、隠れキリシタンの里、米川のみずかぶり

登米市の郷土料理「はっと」が、
令和6年度文化庁100年フードに認定!!



3. 観光データ



～自然と歴史が織りなす うまし うつくし 登米の旅～

1. 圏域の観光の現状・課題	2. 圏域会議における意見等
①観光資源の充実の必要性 自然、歴史、文化、食といった地域に根ざした多様な観光資源は豊富にあるが、入込客数の主な要素は、圏域内に5か所ある道の駅 ⇒観光客の大部分が買い物目的	㊦いい意味で田舎、非日常感を味わってもらえる圏域である。あえて不便な面を出していくのも、田舎の魅力の一つと考える。 ㊦教育旅行、農業体験、隠れキリシタンに関わる内容は、様々な季節で可能であり、年間を通じて非常に有効なコンテンツである。
②滞在時間の短い単発・通過型観光 宿泊温泉地等がないことに加え、観光地までの二次交通が十分でないことなどから、マイカーを利用した日帰り観光が主流 ⇒滞在時間が短い	㊦交通の要所である仙台を中心として、どのように地域に観光の輪を広げていくか。現状では、地方へ人が流れる仕組みが弱い。 ㊦レンタカー含めての車、自家用車利用による誘客にスポットを当てていった方が良いと考える。タクシーアプリの整備も必要。
③更なる魅力発信の必要性 多様な観光資源を有するが、認知度が十分ではない ⇒観光客数の伸び悩み、資源の未活用	㊦登米圏域に来るお客様が県内からか、遠方からか、来訪手段について少しでも見えてくれば、P Rの仕方も検討できると思われる。 ㊦SNSによる発信以外にも、海外の旅行会社、教育旅行については学校の方にP Rするための活動を、是非充実させてほしい。
3. 圏域の施策の方向性及び取組	4. 最近の取組事例等
①圏域ならではの魅力あるコンテンツづくり ➢ 既存の観光資源の魅力を再認識できる取組を進めます。 ➢ 圏域ならではの魅力として提案できるコンテンツの掘り起こしと磨き上げを推進します。 ②滞在交流型観光の推進 ➢ グリーンツーリズムをさらに充実させ、体験交流を求める層の呼び込みを推進します。 ➢ 農畜産物を使った体験と農泊を組み合わせることや、周辺地域との連携も強化し、より長い滞在を促します。 ③誘客促進に向けた効果的な情報発信 ➢ ターゲット層を目的ごとに明確化し、効果的な情報発信を強化します。	㊦みやぎの明治村歴史探訪（R4～6）…ベテランガイドの案内で登米の魅力再発見。 ㊦登米の魅力体験会（R5～6）…農泊体験、木工体験を実施。 ㊦おなかもころもほっこりフェア（R5～）…食材の魅力を観光につなげる取組。秋・冬の2回開催。 ㊦登米地域の魅力体験イベント（R7～） …県内有数の農業地帯である登米市の魅力のひとつとして、「米」をテーマとしたイベントを開催予定。 食体験や農業体験のコンテンツを充実させることで、地域住民主体型の体験型観光の推進を図る。 ㊦「登米の農泊」のYouTube動画作成…登米地域の農泊の魅力を効果的にPRするため、農泊等が提供する体験コンテンツを紹介する動画を作成。 ㊦仙台・宮城観光キャンペーン県北地域部会との連携による誘客促進 …県地方振興事務所(地域事務所/大崎・栗原・登米)HPにおいて、相互の観光PRイベント情報の掲載、「よしきたみやぎ」公式Instagramを活用した情報発信を実施。 ㊦岩手・宮城県際地域との連携による誘客促進 …「むすび丸・ケロ平ぬい旅」の連携投稿(X、Facebook)、パンフレットの相互配架等。 ㊦デジタルサイネージ広告の掲出（R6） …令和5年度に実施した#トメ旅2023フォトコンキャンペーン受賞作品を活用した観光PR広告を、仙台駅（R6.8.5～8.18）及び盛岡駅（R7.2.24～3.9）に掲出。 ㊦事務所公式SNS「ほっめーしょん」 …Instagram、X（フォロワー数：2,236人／R7.6.16現在） ㊦登米エリアドライブマップ …Googleマイマップ機能を活用し、おすすめ飲食店や観光スポット情報を提供中。

4. 宿泊事業者の皆様からの声を踏まえた宿泊税活用施策イメージ



事業者の皆様からの声

求められる対応



施策の方向

宿泊客が減っており経営が厳しい
日帰り客が多い
地域の賑わいが失われている

その地域に来たい、過ごしたいと思える地域の魅力を高めることが必要

魅力ある観光コンテンツの磨き上げ・創出のための体制づくり

交通アクセスが悪いので足を運んでももらえない

その地域に円滑に足が運ぶことができる仕組みづくりが必要

仙台からの送客・周遊性向上のための二次交通対策

スタッフがなかなか定着しない
人手不足で稼働率を上げられない

人材育成のためのサポート、やりがいを感じられる組織体制支援が必要
人材確保のための取組が必要

快適な旅行環境のための受入環境整備(人材育成・人材確保対策等)

新たなお客さんに泊まってほしい
地域のこんな魅力を感じてほしい

地域の魅力を広く発信できる仕組みづくりが必要

ターゲットを意識した効果的なプロモーション

5. 御意見を頂戴したいこと

施策1 観光地域づくりを行う地域への支援

当圏域で観光地域づくりを進めるに当たって、必要とする支援策はありますか？

施策2 仙台からの送客・周遊性向上のための二次交通対策

当圏域に多くの旅行者に訪れていただけるようにするために必要となる移動手段や支援策は何ですか？

施策3 快適な旅行環境のための受入環境整備

当圏域での受入環境を充実していくに当たって、重視する視点は何ですか？

宿泊業界にとって喫緊の課題である人手不足、人材育成のために求める支援策は何ですか？

施策4 ターゲットを意識した効果的なプロモーションの展開(国内・インバウンド)

当圏域にある観光コンテンツをこういったターゲット層(年齢層、性別、居住地等)に訴えたいですか？

上記1～4のほか、是非、皆様からの現場感に基づいた
アイデア出しをお願いします！！

5. 御意見を頂戴したいこと

以下の3つの視点も参考に御意見ををお願いします。

- 【視点①】地域の観光業が抱える課題への対応・地域の魅力創出に向けた施策など“地域”視点での検討に加え、隣接圏域等との連携による“広域周遊”の視点を踏まえ施策を検討
- 【視点②】宿泊税を納める“納税者(宿泊者)”の視点で有益な使い途施策を検討
- 【視点③】“地域経済活性化”の視点で、滞在時間が長く、消費額単価が高いインバウンドや宿泊観光客の増加に向けた施策や高付加価値化に向けた施策を検討